

ジストニア・不随意運動外来

概要

ジストニア・不随意運動外来について

ジストニア（目が開けにくい、首がまわらない、字が書きづらい、歩きにくいなど）を中心とする運動の異常を診断し治療する部門です。その他、脳卒中の後遺症などで手足がこわばる場合も、治療により改善することがあります。

担当医

毎回、運動障害のエキスパートが診療いたします。次の医師の他、複数の医師で担当しております。

■ 梶 龍児
かじ りゅうじ

1979年 京都大学医学部卒業
1981年～ 京都大学大学院医学研究科
1985年～ 米国ペンシルバニア大学附属病院臨床フェロー
1986年～ 同 客員教授
1987年～ 米国ルイジアナ州立大学メディカルセンター助教授
1988年～ 京都大学医学部神経内科助手
1991年～ 同 講師
2000年～ 徳島大学医学部附属病院 高次脳神経診療部 教授
2002年～ 徳島大学大学院医学研究科臨床神経分野教授
2018年～ 独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 院長（現職）

【役職】

世界神経学連盟 筆頭副理事長
日本臨床神経生理学学会名誉会員
日本ニューロリハビリテーション医学会理事
日本ボツリヌス治療学会代表理事

【専門】

神経学、ジストニアを始めとする不随意運動、神経筋疾患、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、臨床筋電図学、脳卒中後遺症（痙縮）などのボツリヌス治療・リハビリテーション